

報 会

ち か ら

静岡市相撲連盟
会長 川上明廣
事務局 村越浩二
平成31年3月
378号

静岡相撲部OBちから会

昭和30年 ちから会創立

昭和39年 11月 初刊

会 長 細倉涼太
事務局 大江弘文

☆ 平成30年度第120回

静岡商業高校卒業式 第84回 同窓会入会式

3月1日(金) 9時30分から、静岡体育館で1、2年生の在校生と多くの父母、PTA、同窓会の役員が出席し、H30年度281名の卒業式がおこなわれた。国歌斉唱に続き、卒業証書が各級の代表に授与されそのあと、小学生から12年間皆勤の5名をはじめ6年間13名、3年間38名計56名の代表者に、中澤校長から皆勤賞が授与され、会場から大きな拍手が贈られた。中澤校長からは式辞の中で、「人を大切に、常に学ぶ事を大切に、地域を大切に」という言葉を送られた。

在校生送辞、卒業生答辞のあと、校歌を高らかに斉唱し閉会式となる。在校生、父母の拍手お世話になった先生とのハイタッチで送られ体育館を後に新しい一歩を踏み出していった。今年も目立ちがり屋のパフォーマンスはなく無事終了する。

卒業式に先立つ2月28日(木)に、卒業生の同窓会入会式がおこなわれ、明治32年4月静岡創立以来今年の卒業生を含め三万五千七百六十人が巣立つこととなった。同窓会は昭和10年に創立され、今年で84年となる。今期は平成最後の年でもあり、また、120周年記念行事も多く開催され、これらの記念行事が学校や多くの生徒の協力もあり、又、多くの一般の人々の参加も頂き、盛大に遂行され、卒業生にとつては記憶にも記録にも残る一年となったことと思う。新人全員に卒業後への協力支援をお願いし、学年幹事代表の仲野うるかさん他7級の代表へ委嘱状の授与を行う。役員紹介の際、この日大阪から出席して頂いた同窓会関西支部の富阪支部長を紹介、富阪さんから関西支部の状況と同窓会の絆の素晴らしさを話しをして頂いた。終わりに事務局から年会費2千円の納入の件、関東中部、関西支部を含む各行事への積極的な参加を促進し閉会となる。 同窓会副会長 下村勝彦。

☆静岡県相撲連盟横綱・優秀選手表彰式が

2月2日静岡市クーポール会館にて開催された。この表彰式はH30年一年間の成績による獲得ポイント制で行われる。静岡市相撲教室からは、小学校6年生の杉本紘一朗君が、小学生の部で横綱表彰された。

(参加役員・川上・中村修二・中村武)

静岡 溪声俳句会

水ぬるむペンキ塗り立て貸ポート
桜咲く数歩伸びたる万歩計
咲くがよし散るもまたよし桜かな
少年に負ける水切り山笑ふ
山笑う畝立ての土生きかえる
甲高き舞うた聞こゆ保育園

ぼた餅や彼岸は母の客ばかり

岩崎 安次
高橋 璋
加賀美 幸
名田 幸一
佐藤 康紀
永田 峰雄
牧田 秀峰

☆ 第9回白鵬杯が両国国技館で開催

2月11日朝早くから雪がちらつく東京両国国技館で開催された。静岡市相撲教室からは杉本紘一朗君、根上航平君、岡村徹君、遠藤秀和君、芳野竜汰君、松永悠聖君の6名が出場した。選手達は善戦するも全員が予選トーナメント戦で敗退。これを機に今年に大会に奮起してくる事を期待します。

(参加役員・中村武・村越浩二・山中与志久)

☆ H30年度静岡市体育協会表彰式が

3月8日開催された。H30年度の表彰者は
体育功労章 ちから会会長 細倉涼太
優秀指導者章 市相撲連盟事務局長 村越浩二

おめでとうございます。

(参列者)・吉永・川上・中村・中村武・中嶋・村松・小林・敬称略



後列 左側から 吉永・中村・川上・中嶋・村松
前列左側 優秀指導者章 村越浩二 右側 体育功労章 細倉涼太

H31年度ちから年会費納入誠に有難うございます。

下村勝彦・上杉隆信

☆「栃港」 引退断髮式

本名桑名勇斗焼津市出身、春日野部屋東二段目72枚目が、初場所最後の取り組みで勝ち、力士最後の土俵を勝ち越し（4勝3敗）有終の美を飾った。中学時代は焼津すもうクラブに属し、卒業後は大相撲に進みたいと相談に來たので、春日部屋を紹介し入門する。

平成16年1月序ノ口東35枚目をスタートし、幕下42枚目まで進むも怪我に泣き、平成26年腰を手術その後も稽古が満足に出来ず、今年の初場所引退を決意した。全成績は283勝266敗67休であった。

1月29日場所後、引退を報告しながら焼津へ來るといので、焼津市役所相撲部や中学時代の相撲クラブ仲間と声を掛け、激励会を開く、今後は千葉の飲食店で修行をし、将来自分で店を出したいとの事で、その時は皆で応援しようと激励し、本人も出来れば焼津で「栃港」という店を出したいという夢を語っていた。

激励会へ行く前に、自分の処へ母親と一緒に挨拶に來てくれたので、力士としての最後の証と想いでとなるよう、色紙に手形とサインを押させた。関取り以上でないとは押せないのだが、これまでも安大葉、若駿河、片山など焼津出身の力士には押させ記念に残している。母親に3枚持つて行くように渡すと、大変喜び玄関に飾ってあるとのことであった。

春日野部屋前 上の写真向かって左側から
栃ノ心・栃港・栃煌山・碧山

2月5日、春日部屋で断髮式が行われ、両親も出席し稽古のあと土俵の中央に式場が設けられた。最後の大銀杏（おおいちよう）を結って、両親や栃ノ心、栃煌山、碧山など関係者との記念写真を撮る。その後土俵上で栃ノ心からハサミを入れ、碧山のあと指名があり自分もハサミを入れる。続いて栃飛龍、栃幸大の静岡出身力士をはじめ、全力士が入れ、最後に春日野親方が止めバサミを入れた。千葉へ行く前日顔をだしてくれたが、整髪をし一段と男前になった姿にビックリしたり、感心したりこれなら女性客も増えるぞと大笑いに第2の人生は三役を目指すと、決意を語ってくれた。頑張れ栃港勇斗！これからだ 下村勝彦。

